

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

法人の概要（令和8年6月30日現在）

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日 昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日 昭和57年8月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 5人 理 事 7人 監 事 2人
評 議 員 青 木 由紀子（湯梨浜町商工会女性部長）
〃 岩 本 善 文（倉吉商工会議所専務理事）
〃 広 田 一 恭（倉吉市長）
〃 清 水 文 人（学校法人藤田学院鳥取短期大学教授）
〃 後藤田 拓 也（鳥取県生活環境部自然共生社会局長）
理 事 長 田 村 満 男
常務理事 田 村 満 男（理事長兼務）
理 事 宮 脇 正 道（湯梨浜町長）

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

理 事 松 浦 弘 幸（三朝町長）

〃 手 嶋 俊 樹（北栄町長）

〃 吉 川 仁 彦（倉吉市副市長）

〃 中 江 亜紀子（有限会社中江組代表取締役）

〃 清 水 広 明（鳥取県生活環境部自然共生社会局水環境保全課長）

監 事 木 天 昌 明（税理士）

〃 植 原 徳 彦（行政書士）

7 職 員 7 人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬 1 5 1 7 番地

令和7年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和6年度～令和10年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善及び効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和7年度決算額は、536,204千円であり、主要機器の分解整備工事など予防保全的修繕を着実に実施するとともに、効率的な管理運営により経費の縮減に取り組んだが、資材、薬品の高騰、修繕工事の増加などで、前年度比4%の増加となった。

1 天神川流域下水道の管理運營業務

(1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、污泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水污泥は全量処分委託により堆肥化等として有効活用を図った。

流入汚水量は年間 6,893 千 m³（日量 18,884m³）で前年度比 0.6%の減少となり、脱水污泥は年間 4,212 トンで 3.9%の増加、使用電力量は 4,097 千 kwh で 0.9%の増加であった。

ア 流入汚水量の状況

年間計画流入水量は、7,066,788 m³（日平均 19,361m³）であり、流入汚水量は、次の表のとおりであった。

日 平 均	18,884 m ³
年間合計	6,892,966 m ³

イ 水処理の状況

項 目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質除去率
BOD (mg/l)	160	7.0	15	96%
浮遊物質 (SS) (mg/l)	160	2.0	40	99%

※BOD：生物化学的酸素要求量

(2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕として冷却水ポンプ他、無停電電源装置、誘導灯・煙感知器等の工事、計画的な分解整備（オーバーホール）としてベルト型ろ過濃縮機、し渣脱水機他や流量計測設備修繕工事の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

(3) 緊急時の対応

天神川流域下水道非常時対応要綱に基づき、公社の運用方法等（緊急非常時対応基準書、異常大量流入水時の運転計画）を定め、水害、地震・津波、異常流入水、下水道施設の破損

等に備えている。

- ・水質事故現地対策訓練・・・天神川水系水質汚濁防止連絡協議会の訓練に参加した。
(10月20日)
- ・管路点検・・・島根県東部を震源とする地震の発生後に、幹線管渠の緊急点検を実施した。
(1月6日)
- ・総合訓練・・・豪雨による異常大量流入水発生を教訓に災害本部の立ち上げ、着水井ゲート操作、緊急点検等の訓練を実施した。(3月27日)

2 下水道の水質分析等

令和7年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	485回
検体数	18,800検体

3 下水道技術者の養成

公社職員の技術の向上を図るため、研修会、講習会等に積極的に参加した。

4 下水道技術の調査研究

第62回下水道研究発表会 in 大阪に参加し、下水道に関連する技術や下水道経営など日頃の研究成果や実務事例等を聴講した。また、毎月1回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

5 下水道知識の普及及び啓発

- (1) ホームページに掲載している下水道の仕組み、公社の財務状況、水処理状況等を随時更新した。
- (2) 下水道についての理解と普及促進を図るため次のとおり取り組んだ。

ア 水について知ろう！親子でめぐる水の循環バスツアー（例年は、ぐるり水の探検）

鳥取県内の小学校3年生から6年生の児童とその保護者を対象に、鳥取県中部の名水（宇野地蔵ダキ）、大山乳業農業共同組合の工場見学及び天神浄化センターの施設見学、顕微鏡の観察、水質検査等の体験を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めてもらった。

開催日：7月26日

参加者：鳥取県内の親子 48名（子ども25名、保護者23名）

イ 下水道コンクール

中部地区の小学校4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：絵画・ポスター9点、習字13点、標語10点

応募作品数：合計753点（対前年比 15%の増加）

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和7年度作品数	71	524	158	753
令和6年度作品数	2	488	162	652

審査会：9月12日

表彰式：10月5日（倉吉交流プラザ）

作品展示会：9月30日～10月5日（倉吉交流プラザ）

ウ 下水道ふれあい教室

職員が小学校に出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の出前授業行った。(2校 97人)

エ 天神浄化センター見学者

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおりである。

年度	総 数	内 訳		
		一 般	学校関係	官公庁職員
令和7年度	795人	0人	784人	11人
令和6年度	649人	56人	593人	0人

6 中期経営計画の取り組み

中期経営計画 2025 (令和7年度～令和10年度)に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化に取り組んだ。

(1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んでいる。

- 4月 ・中期経営計画 2021 (令和3～6年度) 最終評価、中期経営計画 2025 (令和7～10年度) (案)について
- 5月 ・エネルギー消費削減の現状と今後について
- 6月 ・熱中症予防について
- 7月 ・令和6年度維持管理実績概要と今後の取組について
- 8月 ・天神川流域下水道における雨天時浸入水対策に係る共同研究について
- 9月 ・夏場における2種類の高分子凝集剤を使用した場合のトータル経費の比較について
- 10月 ・全国下水道公社におけるウォーター P P P の対応状況について
- 11月 ・消防の自主点検の結果について
- 12月 ・公社ホームページに掲載する水処理棟の説明動画について
- 1月 ・令和8年1月6日に発生した地震について(振り返り)ほか
- 2月 ・令和7年度 T E A S II の取組状況について
- 3月 ・令和8年度 ぐるり水の探検 実施計画について

7 その他

(1) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会

次のとおり連絡協議会が開催され、職員が出席した。

会 議 名	主 催 者
第47回全国下水道公社連絡協議会	(公財) 富山県下水道公社
第31回中国四国下水道公社連絡協議会	(公財) 香川県下水道公社

(2) 県の監査、検査

財政援助団体本監査 (県監査委員) 7月8日 指摘事項なし

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

(3) 雨天時浸入水に係る関連公共下水道との意見交換会

梅雨時期の豪雨が予想されることから、現状や危機管理体制等について、県・関連公共市町との意見交換を実施した。

(4) 人権教育の研修会

第2回公正採用選考人人権啓発推進員研修を受講した。

また、あいサポーターに関する研修、職場内人権研修会を実施した。

(5) 消防訓練

消防計画に基づき、訓練を実施した。

(6) 維持管理年報の作成

前年の維持管理状況をまとめた年報を作成しホームページに掲載した。

(7) 業務の確認等

脱水汚泥の処分業務委託について、搬出・処分状況を確認した。(岡山県真庭市、兵庫県加古川市、境港市)

(8) その他

- ・防火管理講習会を受講した。
- ・職長（安全担当者）教育研修を受講した。
- ・不当要求行為等対策責任者研修を受講した。
- ・T E A S IIの確認審査があり、「指摘なし」であった。

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,300	60	6,240
基本財産受取利息	6,300	60	6,240
事業収益	534,013,309	513,914,442	20,098,867
天神川流域下水道維持管理受託事業収益	534,013,309	513,914,442	20,098,867
雑収益	2,184,714	12,044	2,172,670
受取利息	73,119	11,824	61,295
雑収益	2,111,595	220	2,111,375
経常収益計	536,204,323	513,926,546	22,277,777
(2) 経常費用			
事業費	519,766,481	498,541,648	21,224,833
役員報酬	4,253,018	4,160,510	92,508
給料手当	29,571,891	28,915,192	656,699
退職給付費用	1,752,000	1,842,000	△ 90,000
福利厚生費	5,404,187	5,196,898	207,289
会議費	0	10,997	△ 10,997
旅費交通費	85,040	28,400	56,640
通信運搬費	383,940	384,210	△ 270
消耗品費	23,296,055	19,721,290	3,574,765
修繕費	105,941,759	96,242,440	9,699,319
印刷製本費	290,070	191,334	98,736
燃料費	913,730	846,471	67,259
光熱水料費	87,794,072	94,005,664	△ 6,211,592
賃借料	1,575,843	1,655,688	△ 79,845
保険料	32,520	51,851	△ 19,331
手数料	141,344	105,566	35,778
租税公課	4,645,815	4,748,736	△ 102,921
負担金	53,400	23,100	30,300
委託費	253,631,797	240,411,301	13,220,496
管理費	15,363,560	15,211,265	152,295
役員報酬	1,063,255	1,040,127	23,128
給料手当	6,720,297	6,372,433	347,864
退職給付費用	288,000	288,000	0
福利厚生費	1,208,985	1,217,208	△ 8,223
会議費	3,500	15,900	△ 12,400
旅費交通費	106,850	105,960	890
通信運搬費	231,674	233,459	△ 1,785
消耗品費	981,044	848,575	132,469
修繕費	22,550	142,318	△ 119,768
印刷製本費	0	13,475	△ 13,475
燃料費	195,772	226,356	△ 30,584
光熱水料費	751,636	803,294	△ 51,658
賃借料	754,502	760,126	△ 5,624
保険料	93,648	73,030	20,618
諸謝金	204,600	217,550	△ 12,950
手数料	476,382	438,230	38,152
租税公課	340,085	367,164	△ 27,079
負担金	216,660	212,160	4,500
委託費	1,704,120	1,835,900	△ 131,780
経常費用計	535,130,041	513,752,913	21,377,128
評価損益等調整前当期経常増減額	1,074,282	173,633	900,649
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,074,282	173,633	900,649
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,074,282	173,633	900,649
一般正味財産期首残高	2,252,259	2,078,626	173,633
一般正味財産期末残高	3,326,541	2,252,259	1,074,282
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	6,326,541	5,252,259	1,074,282

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	6,300	0		6,300
基本財産受取利息	6,300	0		6,300
事業収益	518,617,729	15,395,580		534,013,309
天神川流域下水道維持管理受託事業収益	518,617,729	15,395,580		534,013,309
雑収益	2,184,714	0		2,184,714
受取利息	73,119	0		73,119
雑収益	2,111,595	0		2,111,595
経常収益計	520,808,743	15,395,580		536,204,323
(2) 経常費用				
事業費	519,766,481	0		519,766,481
役員報酬	4,253,018	0		4,253,018
給料手当	29,571,891	0		29,571,891
退職給付費用	1,752,000	0		1,752,000
福利厚生費	5,404,187	0		5,404,187
旅費交通費	85,040	0		85,040
通信運搬費	383,940	0		383,940
消耗品費	23,296,055	0		23,296,055
修繕費	105,941,759	0		105,941,759
印刷製本費	290,070	0		290,070
燃料費	913,730	0		913,730
光熱水料費	87,794,072	0		87,794,072
賃借料	1,575,843	0		1,575,843
保険料	32,520	0		32,520
手数料	141,344	0		141,344
租税公課	4,645,815	0		4,645,815
負担金	53,400	0		53,400
委託費	253,631,797	0		253,631,797
管理費	0	15,363,560		15,363,560
役員報酬	0	1,063,255		1,063,255
給料手当	0	6,720,297		6,720,297
退職給付費用	0	288,000		288,000
福利厚生費	0	1,208,985		1,208,985
会議費	0	3,500		3,500
旅費交通費	0	106,850		106,850
通信運搬費	0	231,674		231,674
消耗品費	0	981,044		981,044
修繕費	0	22,550		22,550
燃料費	0	195,772		195,772
光熱水料費	0	751,636		751,636
賃借料	0	754,502		754,502
保険料	0	93,648		93,648
諸謝金	0	204,600		204,600
手数料	0	476,382		476,382
租税公課	0	340,085		340,085
負担金	0	216,660		216,660
委託費	0	1,704,120		1,704,120
経常費用計	519,766,481	15,363,560		535,130,041
評価損益等調整前当期経常増減額	1,042,262	32,020		1,074,282
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	1,042,262	32,020		1,074,282
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,042,262	32,020		1,074,282
当期一般正味財産増減額	1,042,262	32,020		1,074,282
一般正味財産期首残高	2,239,939	12,320		2,252,259
一般正味財産期末残高	3,282,201	44,340		3,326,541
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0		3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0		3,000,000
III 正味財産期末残高	6,282,201	44,340		6,326,541

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	38,606,168	37,047,023	1,559,145
未収金	169,484	9,426	160,058
貯蔵品	3,326,541	2,252,259	1,074,282
流動資産合計	42,102,193	39,308,708	2,793,485
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	45,102,193	42,308,708	2,793,485
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	38,579,238	36,902,586	1,676,652
預り金	196,414	153,863	42,551
流動負債合計	38,775,652	37,056,449	1,719,203
負債合計	38,775,652	37,056,449	1,719,203
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産	3,326,541	2,252,259	1,074,282
正味財産合計	6,326,541	5,252,259	1,074,282
負債及び正味財産合計	45,102,193	42,308,708	2,793,485

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 平成20年公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(2) 棚卸資産（貯蔵品）について

棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。

(3) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

14. 関連当事者との取引の内容

該当なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

16. 重要な後発事象

該当なし

17. その他

その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

品名	当期末残高
業務用薬品	2,090,465円
材料	80,186円
自家用発電設備燃料	1,111,550円
切手、収入印紙	44,340円
合計	3,326,541円

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	預金	普通預金	運転資金として	38,606,168
	未収金	ごうきんエナジー(株)	太陽光発電の補助金還元金	169,484
	貯蔵品	業務用薬品等	運転管理等に伴う年度末在庫として	3,326,541
流動資産合計				42,102,193
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	山陰合同銀行	運用益を公益目的事業に充てるために保有	3,000,000
固定資産合計				3,000,000
資産合計				45,102,193
(流動負債)				
	未払金	鳥取県他未払金	県への返納金、運転・保守点検等	38,579,238
	預り金		業務委託料、3月分電気料金他	
			3月分所得税、住民税	196,414
流動負債合計				38,775,652
負債合計				38,775,652
正味財産				6,326,541

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

該当なし

令和 8 年度事業計画

I 基本方針

当公社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和 6 年度～10 年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

現指定管理期間の 3 年目となる令和 8 年度は、管理運営の方針に基づき、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

【管理運営方針】

- （１）良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- （２）適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- （３）継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- （４）下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- （５）下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- （６）連携協力と信頼性を確保すること

II 事業内容

1 天神川流域下水道の管理運營業務【570,696 千円】

（１）天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

・計画流入汚水量

令和 8 年度	令和 7 年度実績
7,039,434m ³ （日平均 19,286m ³ ）	6,892,966m ³ （日平均 18,884m ³ ）

・放流水質管理目標（年間最大値）

BOD(mg/ℓ)	SS(mg/ℓ)	大腸菌数(CFU/ml)
10 未満	10 未満	800 未満

・計画汚泥処理量

令和 8 年度	令和 7 年度実績
4,755t	4,538t

（２）施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）等による予防保全的修繕を実施するなど、機能保全措置により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。
- エネルギー管理の徹底、脱水汚泥発生量の削減、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	・天神浄化センター（処理能力 32,000m³/日） ・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠 ・処理分区流量計測設備（23 箇所） ・若土ポンプ場
------	--

・予防保全的修繕【93,754 千円】

① 分解整備

3号主ポンプ分解整備工事（令和8、9年度債務負担）、3号送風機分解整備工事（令和8、9年度債務負担）、ケーキ貯留サイロ分解整備工事、若土ポンプ2号主ポンプ分解整備工事、次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ他分解整備工事、汚泥棟VCB分解整備工事

② 臨時的修繕

電話設備修繕工事、中江処理分区流量計測設備改修工事他

・事後対応修繕【13,000 千円】

修繕費枠予算

2 下水道の水質分析等【1,429 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場での維持管理へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3 下水道技術者の養成【355 千円】

○下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。
○下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4 下水道技術の調査研究【645 千円】

○下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。
○8月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5 下水道知識の普及及び啓発等【972 千円】

○小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。
○ホームページの充実と情報を分かりやすく発信していく。
○水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。
○「下水道コンクール」として、中部地区の小学校4年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。
○「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

6 その他公社の目的を達成するために必要な事業

収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	6	1	5	
基本財産受取利息	6	1	5	
事業収益	572,057	548,157	23,900	
天神川流域下水道	572,057	548,157	23,900	
維持管理受託事業収益				
雑収益	2,034	1	2,033	
受取利息	1	1	0	
雑収益	2,033	0	2,033	
経常収益計	574,097	548,159	25,938	
(2) 経常費用				
事業費	556,258	531,619	24,639	
役員報酬	4,286	4,231	55	
給料手当	31,404	30,327	1,077	
退職給付掛金	1,752	1,764	△ 12	
福利厚生費	5,917	5,731	186	
会議費	14	14	0	
旅費交通費	809	414	395	
通信運搬費	396	396	0	
消耗品費	32,862	22,427	10,435	
修繕費	106,754	103,936	2,818	
印刷製本費	220	180	40	
燃料費	1,744	1,489	255	
光熱水料費	94,058	93,143	915	
賃借料	1,038	1,742	△ 704	
保険料	65	46	19	
手数料	143	199	△ 56	
租税公課	6,312	5,335	977	
委託費	268,293	260,064	8,229	
負担金	191	181	10	

(単位:千円)

科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
	管理費	17,839	16,540	1,299			
	役員報酬	1,071	1,058	13			
	給料手当	7,366	6,840	526			
	退職給付掛金	288	288	0			
	福利厚生費	1,420	1,313	107			
	会議費	11	11	0			
	旅費交通費	427	351	76			
	通信運搬費	332	328	4			
	消耗品費	1,083	980	103			
	修繕費	165	165	0			
	印刷製本費	60	50	10			
	燃料費	289	239	50			
	光熱水料費	804	792	12			
	賃借料	835	828	7			
	保険料	94	62	32			
	諸謝金	354	313	41			
	手数料	480	476	4			
	租税公課	470	340	130			
	委託費	2,057	1,873	184			
	負担金	233	233	0			
	経常費用計	574,097	548,159	25,938			
	当期経常増減額	0	0	0			
	2. 経常外増減の部						
	(1) 経常外収益						
	経常外収益計	0	0	0			
	(2) 経常外費用						
	経常外費用計	0	0	0			
	当期経常外増減額	0	0	0			
	当期一般正味財産増減額	0	0	0			
	一般正味財産期首残高	2,080	1,600	480		貯蔵品の期首残高	
	一般正味財産期末残高	2,080	1,600	480		貯蔵品の期末残高	
II	指定正味財産増減の部						
	当期指定正味財産増減額	0	0	0			
	指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0			
	指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0			
III	正味財産期末残高	5,080	4,600	480			

収支予算書内訳表

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	6	0	0	6
基本財産受取利息	6	0	0	6
事業収益	554,218	17,839	0	572,057
天神川流域下水道維持 管理受託事業収益	554,218	17,839	0	572,057
雑収益	2,034	0	0	2,034
受取利息	1	0	0	1
雑収益	2,033	0	0	2,033
経常収益計	556,258	17,839	0	574,097
(2) 経常費用				
事業費	556,258	0	0	556,258
役員報酬	4,286	0	0	4,286
給料手当	31,404	0	0	31,404
退職給付掛金	1,752	0	0	1,752
福利厚生費	5,917	0	0	5,917
会議費	14	0	0	14
旅費交通費	809	0	0	809
通信運搬費	396	0	0	396
消耗品費	32,862	0	0	32,862
修繕費	106,754	0	0	106,754
印刷製本費	220	0	0	220
燃料費	1,744	0	0	1,744
光熱水料費	94,058	0	0	94,058
賃借料	1,038	0	0	1,038
保険料	65	0	0	65
手数料	143	0	0	143
租税公課	6,312	0	0	6,312
委託費	268,293	0	0	268,293
負担金	191	0	0	191
管理費	0	17,839	0	17,839
役員報酬	0	1,071	0	1,071
給料手当	0	7,366	0	7,366
退職給付掛金	0	288	0	288
福利厚生費	0	1,420	0	1,420
会議費	0	11	0	11
旅費交通費	0	427	0	427
通信運搬費	0	332	0	332
消耗品費	0	1,083	0	1,083
修繕費	0	165	0	165
印刷製本費	0	60	0	60
燃料費	0	289	0	289
光熱水料費	0	804	0	804
賃借料	0	835	0	835
保険料	0	94	0	94
諸謝金	0	354	0	354
手数料	0	480	0	480
租税公課	0	470	0	470
委託費	0	2,057	0	2,057
負担金	0	233	0	233
経常費用計	556,258	17,839	0	574,097
当期経常増減額	0	0	0	0

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部 取引消去	合計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,980	100	0	2,080
一般正味財産期末残高	1,980	100	0	2,080
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
Ⅲ 正味財産期末残高	1,980	3,100	0	5,080